

落合病院でも

マイナンバーカードが 健康保険証として利用できます!

落合病院以外にも、「マイナ受付」のステッカー・ポスターが貼ってある医療機関・薬局で使えます。



①マイナンバーカードを健康保険証として利用するメリットは?

- 健康保険証としてずっと使える。
(保険証が変わってもマイナンバーカードでOK)
※ただし、現時点では自治体の公費負担の
証類は対象になっていません。別途ご提示
いただく必要があります。
- お薬手帳がなくても薬剤情報を医療機関に
提供できる。(同意された場合のみ)
- 初めてのご受診でも特定健診情報(検査データなど)を
医療機関に提供できる。(同意された場合のみ)
- 保険者へ限度額認定証の申請をしなくても限度額
以上の医療費を支払う必要がなくなる。(同意された場合のみ)

- 医療機関のメリット**
- 健康保険証データを
システムに取り込めるため
入力間違いがない。
 - 健康保険証の資格確認が
オンラインですぐにできる。
 - 医師が薬剤情報を参照することができる。
 - 医師が特定健診情報を参照することができる。
 - 医師が特定健診情報を参照することができる。(同意された場合のみ)



②マイナンバーカード利用の流れ

- ①「ICカードリーダー」のところにマイナンバーカードをセット
- ② モニタ画面で顔認証(基本的にはマスクやメガネをしていても認証可能)
- ③ 同意操作(特定健診情報・薬剤情報の提供について)
- ④ 同意操作(限度額認定証等との連携について)

※ 機器やシステムに顔写真データは保存されませんのでご安心ください。※ ③、④は必ずしも同意する必要があります。

③マイナンバーカードの健康保険証利用のお申し込み方法

いずれかの方法でお申し込みいただけます!

1 セブン銀行ATMでお申し込み



お近くのセブン銀行
ATMで、手数料0円で
お申し込み
※健康保険証は不要です。

お申し込みに必要なもの
マイナンバー
カード
+
利用者証明用
パスワード(4桁)

2 マイナポータルアプリでお申し込み



詳しくは、厚生労働省HPをご確認ください。
厚生労働省 健康保険証

出典:厚生労働省ホームページ(https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08277.html)

新年のごあいさつ



あけましておめでとうございます。
皆様には落合病院をはじめ医療法人井口会の各施設の運営、活動
にご理解・ご協力、そして多大なるご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

旧年は新型コロナウイルスに振り回される1年でした。次々と変異
株が現れて感染の波が襲ってきました。皆様におかれましても行動
制限や常に感染対策を強いられ、ご苦労されたことと思います。受診
された方々や入院された方々、家族の方々にはご迷惑をお掛けして
おりますがどうかご理解いただきたいと思います。ワクチン接種は當
初や混乱しましたが、行政、市民の方々、医療機関が一丸となつて対
応し、この地域では速やかに接種ができたと思っております。まだま
だ今後の見通しがつかない日々が続いています。3回目のワクチン接
種も始まっていますが一日も早い事態の収束を願つてやみません。

昨年も落合病院をはじめ井口会関連施設のご支援を賜りますよう
何卒よろしくお願いいたします。
本年が皆様方にとりまして良い年、平穏な年となりますよう心より
お祈り申し上げます。

令和4年1月1日
医療法人社団井口会 理事長
総合病院 落合病院 院長
井口 大助

落合病院 TOPICS 1

合同消防訓練を行いました



TOPICS 2

2年間の研究成果を発表



昨年11月30日(火)第32回目となる院内看護研究発表会を開催しました。当院では、看護の質の向上を目的として2年間かけてそれぞれのテーマで研究した成果を発表します。今回は、西病棟より「身体抑制解除に向けたアセスメントと今後の課題」、腎センターより「透析継続困難な患者に対するスタッフの意見から看護の在り方を考える」の2席の発表がありました。新しい病院で初めての開催となり、感染対策を行いながら規模を縮小した発表会となりましたが、発表後には活発な質疑応答があり、新見公立大学看護学科の木下香織先生に講評をいただきました。たくことができました。今後も継続していきたいと思います。

昨年10月30日(土)真庭消防本部、真庭市消防団落合方面隊の皆様と合同消防訓練を行いました。落合病院で地震と火災による多数の傷病者が発生し、当院からの通報により真庭消防署、真庭市消防団落合方面隊が出動するという想定でした。新しくなった病院で初めての訓練となり、新しい警報盤を使った状況確認と通報、避難器具を使つた救出、救急隊員と合同での傷病者対応などをサポートをいただきながら一連の流れを確認することができました。また、消防の救助工作車による2階からの救出活動や消防団の一斉放水など圧巻の迫力でした。コロナ禍にあり、院内での救出訓練や地域の皆さんに見学していただきました。ご協力ありがとうございました。大変有意義な訓練となりました。

初代理事長の井口與志子が落合に赴任して落合病院の基礎が誕生したのが昭和12年です。80余年の長期にわたり医業を継続してこら化し、患者さんやご家族のみならず行政や医療者側においても大変に厳しいものとなつてきましたが、加えて新型コロナウイルスの蔓延により社会全体、人類全体が苦境に立たれています。このような状況ではありますかが、私達は落合病院、向陽台病院を中心とした各施設が協力し、地域の方々の生活や健康を守るお手伝いをしてお役に立てるようになります。今年も落合病院をはじめ井口会関連施設のご支援を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。

本年も落合病院をはじめ井口会関連施設のご支援を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。

本年が皆様方にとりまして良い年、平穏な年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年11月30日(火)第32回目となる院内看護研究発表会を開催しました。当院では、看護の質の向上を目的として2年間かけてそれぞれのテーマで研究した成果を発表します。今回は、西病棟より「身体抑制解除に向けたアセスメントと今後の課題」、腎センターより「透析継続困難な患者に対するスタッフの意見から看護の在り方を考える」の2席の発表がありました。新しい病院で初めての開催となり、感染対策を行いながら規模を縮小した発表会となりましたが、発表後には活発な質疑応答があり、新見公立大学看護学科の木下香織先生に講評をいただきました。たくことができました。今後も継続していきたいと思います。